

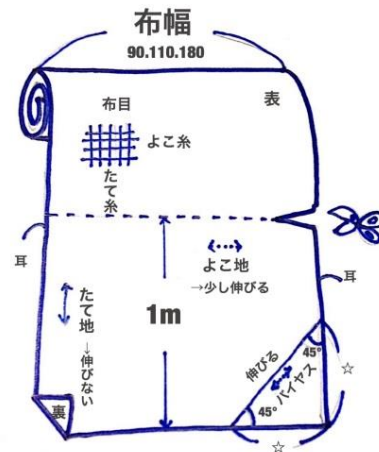
3.地直しと水通し

いよいよ準備に入ります

～地直し～

布を購入後、作業にとりかかる前に
布のゆがみを直し整える必要があります
それが地直しです

難しそう
面倒くさい
やり方がよくわからない
地直しと聞いて頭に浮かぶのはこんなことだと思います



でも、作業にとりかかる前に地直しをして、
ある程度布目を整えておかないと
仕上がりが歪んでしまったりして
せっかくの作品が台無しになってしまいます

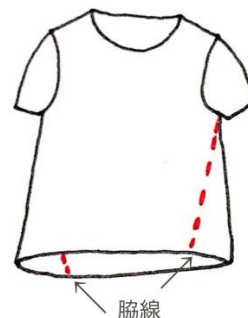
このように1,2度洗ったら脇線が斜めになってしまった！という経験はありませんか？
これも布のゆがみが原因です

仕上がりをきれいに、そして長く使っていきことができるように
水通しなどで歪んだ布目をまっすぐに整えるたりするので

～水通し～

水通しって何でしょう
ずばり、水の中に布を入れることです

水の中に入れるとどうなるか
縮んだり、色落ちしたりするかもしれません

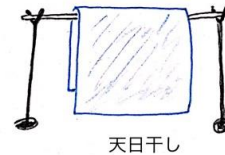
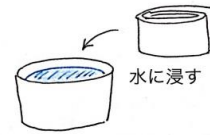


もしも水通ししないで作品が出来上がった後、
洗濯などで布が縮んでしまったら、せっかくの作品が台無しです
そのため、はじめに布を水に浸して、あらかじめ布を縮ませておくことが必要です

最近は布の品質も向上し、水通しはしなくても
それほど縮んだりすることはなくなりました
それでもやはり綿などは水通しはした方がいいです

～水通しの方法～

では実際水通しはどうやるのでしょうか
まずは大きなバケツに水を張り
布をたたんだまま浸します
浸しただけではノリが強いきいていますので
なかなか中まで水が通りません
布を押ししたりたたみ直したりして
しっかりと中まで水が全体にしみわたるようにしましょう
大きなバケツがない場合は、洗濯機を利用しましょう
すすぎコースで回すか、
または普通に洗濯をしてもいいです
シワにならないように干して乾かします



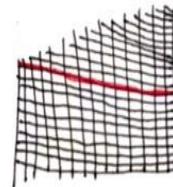
表地・綿麻キャンパスの場合、水通しが必要でず
接着芯・別布は必要ありません

地直して実際どうやるの？

～地直しの方法～

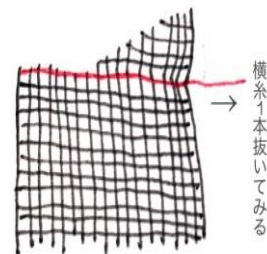
地直しを実際やってみましょう
ここにだいぶ歪んでいる布があります

基準となる横糸を決めましょう
縦と横は本来直角だから
赤線より上の部分は不要です



方法1：横の糸を一本抜いてみる

これで1本きれいに抜けたら成功です
しかし、しっかり織ってある布は
途中で切れたりしてなかなかうまくいきません



方法2：上から順に横糸をほどいていきます

歪みが大きいと時間はかかりますが
確実な方法です

～この布の場合～

斜めの上の方から抜いていって

基準の横糸まで来たら成功です
余計な糸はカットします

正しい横糸と縦が直角になるようにアイロンで整えます

これで布の準備ができました
地直しが大事！とはいえ

やってみるとやっぱりちょっと面倒だったかもしれませんが
しかし、仕上がりはやっぱり違うのでひと手間かけましょう

